

# 奈須りえNEWS



## 二年ぶりに区議会に復帰しました!

4月26日の統一地方選挙で7586票をいただき、定数50人のところ2位で当選いたしました。いただきました票の重みをしっかりと受けとめ、活動してまいります。



大田区議会議員 / 市民政策アナリスト

## 奈須りえ

[事務所]〒143-0024 東京都大田区中央2-11-5  
TEL.03-6303-8671 FAX.03-6303-8672  
Mail.office@nasurie.com



奈須りえホームページ: <http://nasurie.com>  
奈須りえブログ: <http://ameblo.jp/nasurie/>

ツイッター / facebook でも情報発信中!

### Profile

- 1961年 東京都生まれ
- 東洋英和女学院高等部卒業
- 東洋英和女学院短期大学卒業
- 青山学院大学卒業
- 大田区立調布大塚小学校PTA副会長
- 1992~1997年 夫の転勤に伴い香港在住
- 2003年 大田区議会議員初当選 現在4期目
- 市民シンクタンクまちづくりエンパワメント
- 景観と住環境を考える全国ネットワーク
- 呑川ネットワーク連絡協議会
- 戦争をさせない1000人委員会
- 家族構成 ● 夫、子ども3人(長男、男女の双子)
- 大田区北千束在住

## 賃金など上昇分 約7,000万円は誰の手に?

大田区議会第一回臨時会で、新馬込橋架替工事の人員費等上昇分約7000万円を増額したという報告がありました。

質疑したところ、この人件費など上昇分が、現場で働く方たちや下請けに支払われたかを、確認するしぐみの無いことがわかりました。

国土交通省は、建設工事現場で働く、技術を持った方たちの「適切な賃金水準の確保」や「社会保険加入の徹底」が課題でありながら、賃金を引き上げた企業にとどまるなど課題があることを指摘しています。

上昇分が支払われなければ社会保険料などは、下請けの中小企業が負担せざるを得ず、倒産につながる可能性も大きくなっています。

次のような現場からの声もあります。

**大手ゼネコン(上位24社)の決算見通しは、合計で増収増益、前年度より売上**



高で4.4%増、営業利益で32.3%増です。民間工事は選別受注、公共工事は設計変更と設計労務単価引き上げでコスト上昇をカバー。公共・民間共粗利益率を大幅上昇させ、純利益は2224億円、前年度より14.2%増です。私たちの賃金にはそのまま反映せず、株主配当金と内部留保に回されています。

国土交通省は自治体に対し指導を求めています。大田区は現場で働く方や下請け業者に確実に支払われるしぐみを作るべきです。

## 安保法制意見書(案)を門前払い!

二年間大田区議会を離れて戻ったら大田区議会の中が大きくかわってておどろきました。

もともと、少数意見の取り上げ方に課題がある議会運営でしたが、それがさらに後退しています。

あからさまな少数意見の排除とそれに対してきつくと立ち向かう力が弱くなっています。

**少数意見を排除すれば 独裁主義へ**

多数決は、多くの選別肢から「最も良いもの」「もっとも問題の少ないもの」を選ぶしくみですが、少数意見が排除されれば、その選別肢は狭められ、課題がみえにくくなります。

少数意見が排除されれば、独裁主義へと進みます。あまり意識されていないことですが、「会派」は議会運営上大きくものをいう存在です。

選挙後の第一回臨時会において、この「会派」運営の課題が浮かび上がる問題が起きました。

**付議されなかった安保法案への意見書提案**

現在、国会で審議されている安保法案に関する意見書を出そうと12人で議案を提出したところ、決をとられ、提出することができなかつたのです。

議会運営委員会において、決をとる、自民党、公明党、民主党が「緊急性がないから臨時会で取り扱うべきでない」としました。

私も提案者の一人として議案を提出したにもかかわらず、議会運営委員会に参加できない一人会派の私には、日程に出来ないことになったという説明すら議長からありませんでした。そこで、議事日程に加えるよう動議をかけました。その結果、議長が採決し、12人で提出した議案を、それ以外の38人が「緊急性がない」として審議させませんでした。

「安保法制を緊急の課題ととらえるか」という問題を問うたかたちになりました。

こうしたことが繰り返されないよう、奈須りえは「フェアな民主主義」を大田区から広げるため発言、行動してまいります。

**少数意見を排除すれば 形骸化する議会**

提出された議案を「議事に加えること」「緊急性が有るかないか」を、議論する前に多数決で決められるでしょうか。

議員が議案を送付したことで「緊急性がある」として差し支えない」というのが地方自治法の解釈です。

議論を門前払いするならば、議会は形骸化します。

安保法案は、いま、まさに進行中の緊急性を要する問題であり、この議論が大田区民の議論をさらに深めるきっかけになつたかもしれません。

少数意見を尊重しないことにより、大切なことが、私たちにとどまらなくなつていくという事は無いでしょうか。

奈須りえが動議をかけたことにより、議会運営委員会の委員のみならず、大田区議会議員全員に対し、「民主主義はどうあるべきか」



区政情報をお届けしています。みなさまのご意見を奈須りえにおよせください。

# 相変わらずの優先順位で子育て・介護は大丈夫？

臨時会が開催され、再選された松原区長の重要政策が補正予算として提出され、審議を行いました。

## 貯金を取り崩してまで行う緊急性ある課題？

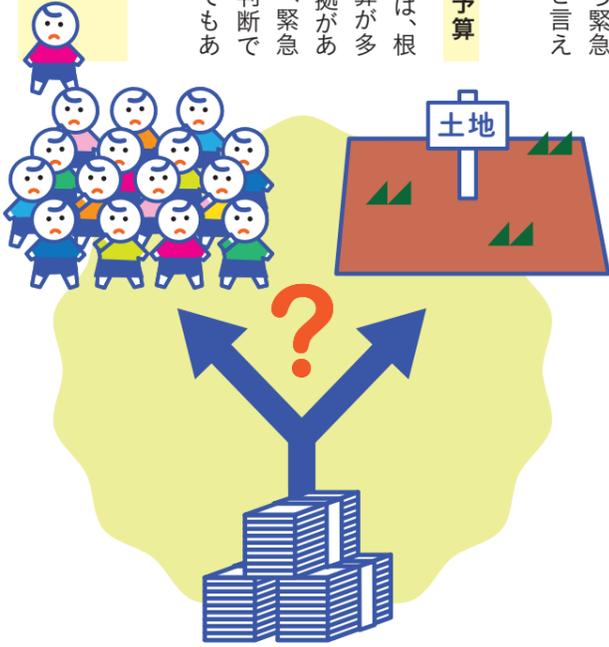
今回の予算の財源は、財政調整積立基金の取り崩しによってまかなわれてい

ます。財政調整基金は、区政の計画的な財政運営を確保するための貯金です。今回の補正予算は、財政調整基金を取り崩してまで行うべき「基礎的かつ緊急性の有る事業」だと言えるでしょうか。

## 根拠のあいまいな予算

今回の補正予算には、根拠のあいまいな予算が多く見られました。根拠が「あいまい」ということは、緊急性があるかどうか判断できないということでもあります。

使い方も決めていないのに  
2億8000万円



たとえば、老朽化した工場建て替えのための土地購入費として2億8100万円を計上しています。ところが、大田区は、この土地をどのように活用するかこれから決めると言っています。

工場アパートのような建物を大田区が建設するのは、事業者が建設するの、1200㎡の土地を事業者で使うのか分割して使うのかも決まっていなければ、土地交換するかも

しれないとまで言っています。

## これまでも行ってきた不明瞭な土地活用

●大森駅前一等地を「公用目的」で土地交換しながら、その後、目的を大幅にかえ民間事業者に50年の定期借地権で「普通財産」として貸し付ける。

●蒲田五丁目区役所近くに使用目的のあいまいな土地を購入し、長期間放

は、ほかにもたくさんあります。

## 「工場建て替えなど促進」というあいまいな言葉

で、大田区の産業のためになると判断していいでしょうか。あいまいな説明で2億8100万円もの土地購入を許すことは、行政への白紙委任も同様です。しかも、土地所有者は

東京都で、取得に緊急性を要するわけでもありません。じっくりプランを練

を変えたことによる数字のマジックで、昨年同様にカウントすれば420人になります。

## 国は待機児の問題が深刻

になるたびに、認証保育所入所者を待機児童数に入れないなど、カウントの仕方を変え、問題をすり替えてきました。

表面上のみせかけの待機児数が減ったとしても、認可保育所と認証保育所の保育料や環境など区民のおかれている不公平な状況は残ったままで変わりません。

多様な運営主体と良いですが、区民は保育園を選べる状況にありません。

国の規制緩和は、雇用をさらに流動化させようとしています。医療を経済成長分野に位置づけたことで、今後、医療保険料はさらに上がることも保険で担保される範囲は縮小することも予測されます。

不要不急の課題を選択し集中的に  
予算が投入される？

り、方針を明確にしてから東京都から借りることも含め検討すればよいのではないのでしょうか。

土地を買っている場合か、不公平な保育サービス、流動化する雇用・揺らぐ医療保険

今年、154人に減った保育園の待機児も、小規模保育所に入った方や育児休業中の方を算入しないなど待機児のカウント方法

## 内田樹さん講演会&奈須りえと対談

### Information

# 「やっぱりあきらめられない民主主義」

白井聡さんとの対談本『日本戦後史論』(徳間書店)が注目を集めている論客の内田樹さんが生まれ故郷の大田区にいらっやいます。現在、講演はお断りされているのですが、親しくなり無理をきいていただきました。大変貴重な機会です。内田樹節で心のモヤモヤを整理しにいらしてください。

- 日時: 2015年11月10日 18:30~
- 場所: 大田区民プラザ 〒146-0092大田区下丸子3-1-3
- 参加費: ¥1500
- 申し込み先: フェアな民主主義 TEL: 03-6303-8671 FAX: 03-6303-8672 mail: office@nasurie.com

《要申し込み》  
氏名、連絡先を添えてお申込みください。  
申込者を優先させていただきます。



[内田樹 プロフィール]  
1950年東京生まれ。東京大学文学部仏文科卒。神戸女学院大学文学部助教授、同教授を経て、2011年退職。神戸市内に武道と哲学研究のための学塾凱風館を設立。専門はフランス現代思想、武道論、教育論。著書に『ためらいの倫理学』『街場の戦争論』など。近著に『日本の反知性主義』(鷲田清一・ほかとの共著)、『日本戦後史論』(白井聡との共著)、『私家版・ユダヤ文化論』で第六回小林秀雄賞、『日本辺境論』で2010年新書大賞。文筆活動全般について第三回伊丹十三賞を受賞。凱風館館長、神戸女学院大学名誉教授。

## ティーパーティー始めました。

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 【ティーパーティー】           | 【7月・8月・9月の予定】   |
| 毎月 第一水曜日 19:00~      | 7月 1日(水) 19:00~ |
| 第四木曜日 10:00~         | 7月23日(木) 10:00~ |
| 中央事務所で奈須りえをかこみ気軽な    | 8月 5日(水) 19:00~ |
| 井戸端会議、ティーパーティーを行います。 | 8月27日(木) 10:00~ |
| 参加費 ¥300             | 9月 2日(水) 19:00~ |
|                      | 9月24日(木) 10:00~ |

\*やむを得ず、急ぎよ予定が変わることもありますので、念のため事務所にご連絡ください。



## 会派、所属委員会がきました。

会派、所属委員会がきました。

【会派】  
会派を結成できるよう努力しましたが、一人会派「フェアな民主主義」として当面の間活動いたします。奈須りえの議会での賛否や活動は、区議会だよりなどに、フェアな民主主義(略)フェア民と記載されます。

【所属委員会】  
常任委員会 都市整備委員会  
特別委員会 羽田空港対策特別委員会

区議会だよりには  
フェア民で掲載されます。

フェア民



## フェアな民主主義 奈須りえ [ボランティア] 募集!

大田区を良くしていきたい、私たちの声を政治に届けたいと思っている皆さんとともに奈須りえは活動しています。奈須りえとともに活動して下さるボランティアのみなさんを募集しています。

●連絡先: 大田区中央2-11-5 TEL.03-6303-8671 FAX.03-6303-8672 office@nasurie.com



フェアな民主主義を!

